



《 目 次 》

●今月のトピックス

- ・ 第1回・第2回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました
- ・ 福島県農業賞 南会津町の小野夫妻が受賞!
- ・ 田島高校生が地域の農業法人を見学しました
- ・ 南会津西部地区(台板橋工区)の権利者会議を開催しました
- ・ ドローン・自動水門現地検討会を開催!

●農林事務所からのお知らせ

- ・ 野生きのこの出荷・販売についての注意とお願い
- ・ 経営継続補助金について
- ・ 秋の農作業安全推進運動実施中!

●コラム

- ・ キラリと光る南会津の6次化商品～安納芋きんつば～
- ・ 職員のつぶやき～南会津のうりん雑感～

令和2年9月29日発行 福島県南会津農林事務所

トピックス

第1回・第2回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました

第1回は「会津田島アスパラ」をPR!

7月18日(土)～8月31日(月)、南会津町田島の飲食店6店舗でキャンペーンを開催しました。アスパラガスとしては全国で初めて地域団体商標に登録されている「会津田島アスパラ」は、抜群の甘みと4色のラインアップが特徴で、直売所でも午前中に売り切れてしまうほど人気の特産品です。

期間中は対象料理を食べた方、各店舗先着50名に記念品を進呈。さらに3店舗以上回った方先着30名に1,500円相当の南会津の特産品詰合せをプレゼントするスタンプラリーも同時開催しました。多くの方がアスパラ料理に舌鼓を打ち、一部の店舗では用意した記念品が開始3日目で無くなるほど盛況でした。

この企画は初の試みでしたが、キャンペーンの一つのあり方として、今後ともより良いイベントにしていきたいと思えます。JA会津よつば様ならびに協力店の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。(企画部)



第1回チラシ

第2回は「南郷トマト」をPR!

8月29日(土)、道の駅きらら289にてキャンペーンを開催しました。今回は、平成30年に福島県産農林水産物で初めて地理的表示(GI)保護制度に登録、JGAP団体認証の取得にも力を入れている南会津を代表するブランド野菜「南郷トマト」をPRしました。

当日は強い日差しで、30℃を超える真夏日となりましたが、県内外より約250名に参加いただきました。抽選会では、旬の南郷トマトをはじめ豪華賞品を手にした人や子供たちの歓声で、大いに盛り上がりました。

今回のイベントでは、参加者の約半数が県外からいらしたにも関わらず、8割の方が南郷トマトを知っており、また、道の駅で購入したトマトを手に入れた抽選会に参加される方もいるなど、南郷トマトへの関心の高さが伺えました。

(企画部)



第2回イベントの様子

福島県農業賞 南会津町の小野夫妻が受賞！

第61回福島県農業賞表彰式が9月9日（水）に福島市の杉妻会館にて開催され、南会津地方では南会津町の小野孝、順子夫妻が受賞しました。

小野夫妻は平成4年に旧南郷村に移住、南郷トマト生産を開始され、以後着実に栽培技術を身につけ、組合の平均単収を常に上回る収量をあげています。平成24年からは南郷トマト生産組合の副組合長として、エコファーマーや南郷トマト生産組合内でのJGAP団体認証取得に取り組むなど「南郷トマト」ブランドのさらなる高付加価値化を常に先導されています。

また、小野夫妻は移住定住のモデルとなっており、地域とのコミュニティを形成し、移住者を受け入れる環境を醸成されたことも、大きな功績です。

農業者としてだけでなく、地域を牽引する存在として今後の活躍が期待されています。

（農業振興普及部）



表彰式の様子 左から小野孝さん、内堀知事、小野順子さん

田島高校生が地域の農業法人を見学しました

当事務所では、高校生に地元の農業者等との交流を通じて地域農業への理解を深めてもらうため、毎年「フレッシュ農業講座」と題して地域の農業経営体への視察を企画しています。

9月7日（月）、県立田島高校普通科環境科学コース2年生の生徒12名が南会津町水無地区の農業法人「室井農園」を見学し、カラーの収穫を体験しました。

学生は室井崇役員の説明を熱心に聞き、カラーの収穫では室井役員の収穫方法をよく見て実際に収穫することで、農業への関心を高めていました。

（農業振興普及部）



花き栽培施設を見学する生徒

南会津西部地区(台板橋工区)の権利者会議を開催しました

7月27日（火）、台板橋集会所において、「農村集落基盤再編・整備事業（中山間地域総合整備事業）南会津西部地区権利者会議」を開催しました。

南会津西部地区台板橋工区（南会津町）は、土地の生産性向上、担い手への農地利用集積を目的として、平成26年度から農地整備事業を実施しており、今回の会議は、農用地の区画形状を変更したことなどにより、工事前の土地に対応する土地を定めるため（換地）に必要な会議です。

結果は、権利者23名全員の賛成（書面議決込み）により換地計画について可決されました。

この農地整備事業を機に、今後ますます当地域の農業経営の体質強化が進み、さらに発展していくことが期待されます。

（農村整備部）



関係地権者が参集

ドローン・自動水門現地検討会を開催！

6月23日（火）に南会津町和泉田で、6月30日（火）に下郷町豊成で、稲作におけるドローンと自動水門の現地検討会を開催し、合わせて水稲生産者等約70名が出席しました。

ドローンは、昨年からの農薬散布に活用される事例が増加しており、今回、活用中の生産者に散布を実演していただきました。従来の方法に比べ3分の1以下の時間で散布でき、身体への負担も少ない様子を見て、参加者の皆さんの関心が高まった様子でした。

自動水門は、設定した時間に合わせて水門を自動で開閉するため、水田への入水、止水作業を省力化できます。昨年の実証試験では設置現場での水管理の作業時間が2分の1以下になったことを実証しました。今年度も自動水門の省力効果を確認していきます。

水田作業の省力化に興味がある方は農業振興普及部（電話：0241-62-5262）までご連絡ください。

（農業振興普及部）



現地検討会の様子

農林事務所からのお知らせ

野生きのこの出荷・販売についての注意とお願い

きのこの発生する時期となりました。出荷制限中の野生きのこは、出荷・販売や他人への譲渡を行わないでください。

南会津地方の野生きのこの出荷制限状況は下記表の通りです。

	南会津町 檜枝岐村	只見町	下郷町
出荷制限中のきのこ	無し	全品目（なめこ、むきたけ、くりたけ、まいたけ、ならたけ、ぶなはりたけを除く）	全品目

また、出荷制限のない野生きのこであっても、あらかじめ県のモニタリング検査等を行って安全性を確認してから出荷・販売等をするよ

うにしてください。さらに、栽培きのこについても、生産者毎に毎年きのこの発生初期にモニタリング検査を行い、安全性を確認したうえで出荷販売等を行うようにしてください。

なお、検査結果は「福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報」（ホームページ：<http://www.new-fukushima.jp/>）にて公表されますのでご確認ください。

（森林林業部）

経営継続補助金について

新型コロナウイルス感染症の影響を克服するため、感染拡大防止対策や販路回復・拡大、事業継続・転換のための機械・設備の導入や人手不足解消の取組を支援します。

○対象者

農林漁業者（個人及び法人）

※常時従業員数は20名以下のもの

○対象となる取組・補助率

(1) 農協、森林組合、漁協等の「支援機関」

による計画作成・申請から実施までの伴走支援を受けた、①～③のいずれかを含む経営の継続に向けた取組を支援。【補助率：3/4（補助上限額は100万円）】

① 国内外の販路の回復・開拓

② 事業の継続・回復のための生産・販売方式の確立・転換

③ 円滑な合意形成の促進等

(2) 事業活動別本格化のための業種別ガイドライン等に則した感染防止対策【補助率：定額（(1)の補助額が上限。50万円まで）】

○問い合わせ先

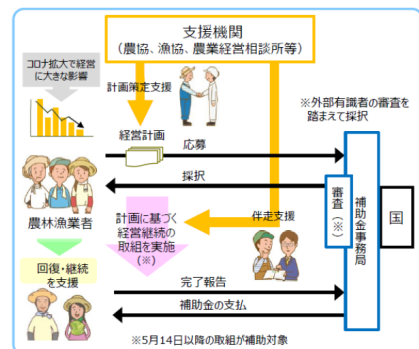
一般社団法人全国農業会議所

経営継続補助金事務局

電話：03-6447-1253

ホームページ：<https://keieikeizokuhojokin.info/index.html>

（農業振興普及部）



経営継続補助金事業イメージ

（出典：一般社団法人全国農業会議所 経営継続補助金事務局）

秋の農作業安全推進運動実施中！

県内では今年7月のトラクター転落死亡事故他、1件の農作業死亡事故が発生しています。

秋の実りの時期を迎え、収穫・管理作業で忙しい日が続いていますが、健康管理に注意しながら、余裕を持った計画を立て、農作業事故を起こさないよう十分注意しましょう。特に機械操縦の際はシートベルトやヘルメットを装着し、家族や周囲の方々と声を掛け合って、今年も農作業安全を心掛けましょう。

期間：令和2年9月1日(火)～10月31日(土) (農業振興普及部)



令和2年農作業安全確認ステッカー (出典：農林水産省)

コラム

キラリと光る南会津の6次化商品 ～安納芋きんつば～

下郷町にある老舗の和菓子屋「笹屋皆川製菓」は、天保の時代から受け継がれてきた伝統の和菓子の味と製法を親子2人で引き継ぎつつ、新たな6次化商品の開発に精力的に取り組んでいます。

今回ご紹介する安納芋きんつばは、希少な南会津産安納芋を使用した逸品です。

美味しさの秘密は手間暇かけて作られるその製法。農薬を使わずに育てたこだわりの安納芋を収穫後さらに熟成させることで風味が格段に増し、安納芋の旨みが活きるとのこと。老舗の和菓子屋が本気で作る安納芋きんつばの美味しさは格別で、ふくしま満天堂プレミアム2017に選出されました。

安納芋本来の旨みを活かしたこの美味しさ！下郷町においでの際はぜひ一度味わってください！

○笹屋皆川製菓

住所：福島県南会津郡下郷町大字弥五島字道上3340-1

電話：0241-67-2648

(企画部)



安納芋きんつば

職員のつぶやき～南会津のうりん雑感～

県オリジナル品種・酒造好適米「福乃香」で造られた地元酒造メーカーの開当男山「純米大吟醸 山王」、國権「山麩 純米酒 福乃香」を購入した。その芳醇さ・端麗さを堪能したところである(残念ながら、限定品であるため、すぐに無くなってしまったのだが…)。

飲み干した酒瓶を目の前にして、改めて福島県の地酒のおいしさ・すばらしさに感銘しているところであり、県オリジナル品種「夢の香」を中心に培った名声(「全国新酒鑑評会」で金賞銘柄数7年連続日本一)を「福乃香」が更に高めるであろう「大いなる期待」を抱かせる。

また、南会津町では、昨年「福乃香」(福島酒50号)を試験的に50a作付けして無事収穫できたところであり、地元酒造メーカーからも期待が寄せられている。

現在のコロナ禍や7月の長雨・日照不足の影響が懸念されるが、今年の県産米の豊作と「五穀豊穰」を願い、**今宵も南会津の地酒で乾杯！**

(農業振興普及部長 積口和司)



左：開当男山「純米大吟醸 山王」

右：國権「山麩 純米酒 福乃香」

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。